

岩 手 県 金 融 経 済 概 況

1. 概 況

県内の景気は、厳しい状況が続いているが、このところ悪化のテンポは緩やかになっている。

最終需要の動向をみると、公共投資と住宅投資が前年を下回って推移しており、設備投資も製造業を中心に大幅に減少している。この間、個人消費は弱い状況が続いている。

こうした中、生産は、在庫調整の進捗などから下げ止まりつつあるが、雇用情勢は厳しさを増している。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、所得環境の悪化や雇用調整が進む中で、弱い状況が続いている。

(大型小売店売上高)

百貨店の売上高をみると、主力の衣料品が低調なうえ、身回品や雑貨も大きく落ち込んでおり、前年を下回って推移している。

スーパーでは、内食回帰の動きなどから、食料品はほぼ前年並みで推移しているが、衣料品や身回品が低調なことから、全体では前年をやや下回って推移している。

(家電量販店売上高)

家電販売では、薄型テレビや冷蔵庫が前年並みで推移しているが、パソコンや携帯電話などが伸び悩んでいることから、前年を下回る動きとなっている。

(新車登録台数)

5 月の新車登録台数は、普通乗用車が 10 ヶ月振りに前年を上回ったことから、全体では前年比 9.8%と前年比減少幅が 7 ヶ月振りに 1 桁台に止まった。

(2) 公共投資

5月の公共工事請負金額は、国、県の予算の執行が遅れており、前年を3割方下回った。

(3) 住宅投資

4月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲とも低調なことから、前年を下回った。

(4) 設備投資

2009年度の設備投資計画(3月短観調査結果*)は、受注の減少や収益の悪化を背景に、製造業が前年度を大きく下回っているため、全体でも大幅な減少となっている。

*09年度計画・前年度比：製造業 51.6%、非製造業+0.6%、全産業 46.4%

3. 生産動向

生産は、電子部品等で減産を緩和する動きがみられるなど、下げ止まりつつある。

(電子部品・デバイス)

電子部品・デバイスは、在庫調整の進展や海外携帯メーカー向けの需要増加から、減産を緩和している。

(輸送機械)

完成車、自動車部品とも、世界的な自動車販売の落ち込みを背景に受注が大幅に減少しており、減産を継続している。

(一般機械)

半導体製造装置や工作機械は、受注の低迷から大幅な減産を継続しているほか、建設機械部品なども、減産を続けている。

(その他)

鉄鋼の線材は、世界的な需要の減少を背景に、操業度を大幅に引き下げている。窯業・土石、木材・木製品は、公共工事や民間工事の減少から減産を継続している。この間、食料品は、ほぼ横這いで推移している。

4. 雇用・所得の動向

4月の有効求人倍率(季節調整値)は、0.34倍(前月:0.38倍)と昭和41年1月(0.32倍)以来の低水準となった。一方、新規求人倍率(同上)は、0.74倍(前月:0.70倍)と前月比改善した。

この間、雇用者所得は、所定外給与が大幅に減少していることなどから、前年水準を下回って推移している。

5. 企業倒産

5月の企業倒産(負債総額10百万円以上)は、件数が16件(前年同月6件)と今年初の2桁台。負債総額は144億79百万円(前年同月25億75百万円)と過去3番目の高水準となった。

6. 金融面の動向

預金動向をみると、個人預金が堅調なうえ、定額給付金・経済対策資金の振込に伴う公金預金の増加もあって、前年を上回って推移している。

貸出動向は、住宅ローンが頭打ちとなっているものの、地方公共団体向けが増加していることなどから、前年を上回って推移している。この間、貸出金利は、上昇している。

以 上

| |
|--|
| 本件に関する問い合わせ先 日本銀行盛岡事務所 TEL : 019-624-3622 (代) http://www3.boj.or.jp/morioka/ |
|--|